

# 御代田町誌 地誌編 目次

口絵 写真

発刊のことば

監修のことば

例言

題字 土屋 清

御代田町誌刊行会長 土屋 清  
東京学芸大学名譽教授  
長野県立歴史館館長 市川 健夫

## 第一章 風土と人びとのくらし

一 御代田町の地理的位置	3
二 浅間火山の自然	5
三 高冷地の生産限界地	8
四 高原野菜の特産地形成	11
五 工業化と住宅団地の造成	14
六 中山間地帯でない御代田町	16

## 第二章 産業と経済の発展

第一節 戰後復興期	23
第二節 高度経済成長期	26

## 第三章 人口と集落の推移

第一節 御代田町の誕生	37
一 伍賀村	37
二 御代田村	38
三 小沼村	39
四 三か村から御代田町へ	40

## 第二節 御代田町の集落の立地

一 伍賀地区	43
(一) 湯川に沿った集落	44

(二) 第二次世界大戦後に生まれた集落	46	三 千ヶ滻用水の改良	.....
二 御代田地区	47	四 農業の機械化と省力化	.....
(一) 中山道に沿った集落	47	五 農薬散布の増加と薬害の防止	.....
(二) 新田開発によってできた集落	49	六 畜産の変化	.....
(三) 鉄道との関係が深い集落	49	七 養蚕と雑穀生産の衰退	.....
(四) 開拓地から新興の住宅地へ	51	八 自然災害と救済対策	.....
(五) 新しく造成された住宅地	52	九 水田の減反政策とうまい米づくり	.....
三 小沼地区	53	一〇 高原野菜の導入と発展	.....
(一) 北国街道に沿った農業集落	53	一一 施設園芸の導入	.....
(二) 浅間南麓の農業集落	54	一二 浅間農業協同組合の発足	.....
(三) 第二次世界大戦後にできた開拓集落	56	125 122 121 118 113 106 100 94 91 89	
(四) 駅との関係が深かった集落	56		
四 別荘集落	57		
第三節 御代田町の人口	59		
一 増加する御代田町の人口	59		
二 御代田町人口の推移	61		
三 増える外国人登録者数	77		
第一節 御代田町農業の発展	85		
一 農業の兼業化と老齢化が進む	85		
二 農業構造改善事業の実施	85		
	86		

## 第四章 高冷地農業の発展

### 第五章 林業と林野利用

第一節 御代田町農業の特色	130	三 千ヶ滻用水の改良	.....
一 高原野菜中心の農業	130	四 農業の機械化と省力化	.....
二 野菜生産の増加と苦労	131	五 農薬散布の増加と薬害の防止	.....
三 伍賀農協のレタス生産への取り組み	131	六 畜産の変化	.....
四 小沼地区の野菜づくりの特色	132	七 養蚕と雑穀生産の衰退	.....
五 御代田地区の野菜づくりと小野菜	133	八 自然災害と救済対策	.....
六 御代田町農業の現状と特色	134	九 水田の減反政策とうまい米づくり	.....
第二節 浅間南麓林業地帯の形成	134	一〇 高原野菜の導入と発展	.....
第三節 第二次世界大戦後の林業	137	一一 施設園芸の導入	.....
	137	一二 浅間農業協同組合の発足	.....
第一節 御代田林業の概観	144	125 122 121 118 113 106 100 94 91 89	
第二節 浅間山麓林業地帯の形成	144		
第三節 第二次世界大戦後の林業	146		
	146		

## 第六章 躍進する工業

第一節 発展する町の地場産業	187	二 精密機械・一般機械工業	182
一 町域の主要工業産物	187	(一) ミネベア株式会社軽井沢製作所	
二 第二次世界大戦後の地場産業	191	(二) シメオ精密株式会社	
(一) 製材業	192	(三) 株式会社シチズン精機	
(二) 早漬たくあん	195	(四) 食料品製造業	
(三) 山ごぼう漬	197	(一) メルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所	
(四) 精米・製粉業	199	(二) レーマン製菓株式会社軽井沢工場	
三 御代田町の特産品	201	(三) 株式会社丸玄御代田工場	
(一) 野沢菜漬	201	(四) 西軽井沢物産株式会社	
(二) スライスレタス	203	(五) 株式会社キヨウショク	
(三) 製麵業	206	四 その他の製造業	
第二節 工業化の推進による産業構造の変化	208	(一) 濱野皮革工藝株式会社軽井沢工場	
一 昭和二十年代の町域の産業	208	(二) アサヒ紙工株式会社長野工場	
二 工場誘致条例の制定と工場誘致	209	(三) 平和産業株式会社軽井沢ピースロン	
三 工場進出による町の工業化	212		
四 工業の発展と産業分類の多様化	216		
五 工業団地	222		

## 第七章 高原の観光開発

第一節 観光開発の推移	257	二 観光地としての御代田町	257
一 観光開発導入期	259	(一) 御代田町観光開発計画	259
(二) 大浅間ゴルフ場の建設	259		

三 別荘開発期	
(一) 御代田財産区の別荘地開発	267
(二) 御代田町による別荘地開発	268
(三) 長野県観光開発公社による別荘地開発	273
(四) 民間デベロッパーによる別荘地開発	274
(五) 学校寮の建設	277
四 レジャー施設の建設	277
五 大資本による大型開発	280
(一) 紀州鉄道株による西軽井沢休暇村建設	280
(二) 総武都市開発株による森泉郷の開発	281
(三) 住友不動産株による浅間南麓リゾート開発計画	284
(四) リオナーズヒル軽井沢によるリゾート開発	286
第六章 商業	288
第一節 観光開発と環境問題	288
第二節 商業地の変遷	299
第三節 アンケートにみる別荘地の現状	293
一 街道とともに栄えた商業地	299
二 鉄道開通がもたらした商業地	301
三 車社会によって生まれた商業地	305
第二節 商業の現状	309

第八章 商業

第一節 商業地の変遷	299
一 街道とともに栄えた商業地	299
二 鉄道開通がもたらした商業地	301
三 車社会によつて生まれた商業地	305
第二節 商業の現状	309

第九章 交通・通信の発達

## 第一節 時代を駆け抜けた鉄道輸送と御代田駅

第二節 觀光開發と環境問題 ······  
288

### 第三節 アンケートによる別荘地の現状…………… 293

萬葉集

卷之三

## 第一節 商業地の変遷

一 街道とともに栄えた商業地……………  
299

二 鉄道開通がもたらした商業地

### 三 車社会によつて生まられた商業地

## 第一節 商業の現状

### 第三節 情報と通信

一 町の発展とともに拡大する郵便事業	363
二 新聞による情報の受発信	368
三 御代田町における電話の普及	373
四 地域を結ぶ御代田町有線放送	376
五 電話の多様化とニューメディア	380
六 情報伝達の主役テレビ	385
七 御代田町役場の情報通信システム	390
八 その他	395
	395
	390
	385
	380
	376
	373
	368
	363

### 三 農業集落排水事業

四 個別排水処理施設整備事業	437
五 合併処理浄化槽設置事業	437

### 第三節 電 気

一 深刻な電力不足	439
二 町内の電気器具店	440
三 電気料金の設定	440
四 町内の電気事故	443
	443
	442
	440
	439

### 第四節 ガ ス

一 県営(都市ガス)ガス	445
二 プロパンガス	445
三 ガスの普及と生活	447

### 索 引

御代田町誌『地誌編』関係者名簿

監修者

執筆者名簿

刊行会名簿

地区調査員名簿

協力者名簿

### 第二節 下 水 道

一 下水道の計画	431
二 公共下水道事業	431

432 431 431

### 四 佐久水道企業団

425 422 419

### (一) 小沼簡易水道

410 410

### (二) 御代田簡易水道

405 405

### (三) 伍賀地区の簡易水道

410 410

### 二 御代田町の上水道

401 401

### 三 御代田町営水道

405 405

### 四 佐久水道企業団

410 410

## 第十章 生活を変えたライフルライン

### 第一節 上 水 道

401

### 一 水道以前の飲み水

401

### 二 御代田町の上水道

405

### 三 御代田町営水道

405

### (一) 小沼簡易水道

410

### (二) 御代田簡易水道

410

### (三) 伍賀地区の簡易水道

410

あとがき